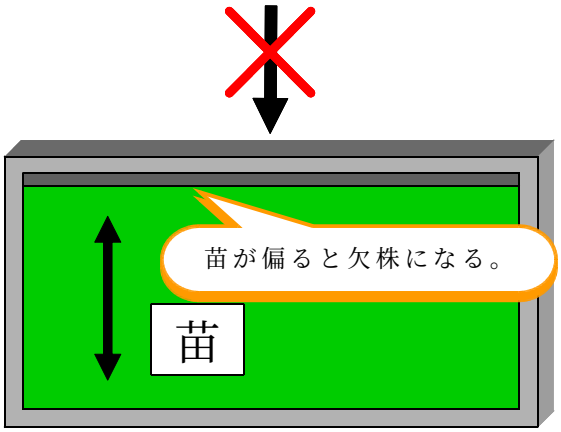
[欠株をなるべく少なくするための注意事項]

○田植機の調整(株間、横送り回数、縦送り量)は取扱説明書を見て確実に行う。
○植付爪は磨耗していないものを使う。
○田面をなるべく均平にする。田面の高低が大きいと、後の水管理や除草剤散布によって枯死株が発生しやすくなる。
○むらなく播種した健苗を用いる。
○苗を搭載する前に、苗箱の横からたたかない。苗が偏って苗載せ台との間に隙間ができる（右図)。
○苗に灌水して苗載せ台での滑りを良くする。
○苗の継ぎ目をよく密着させる（右写真)。
○植付け前に試しにかき取ってみて適正な植付け本数になるように調整する。
○植付深さを適正にする。深すぎると茎数が増えにくい。
○苗を早めに補給する。苗が残り少なくなると軽くなって苗が下りにくくなり、欠株が増える。



＜参考＞

[株間拡大のできない機種(歩行型など)] での対応方法

株間を拡大することのできない機種でも、このように移植行程間を45cm程度開け、かき取り量を削減することにより苗箱数を削減できる。

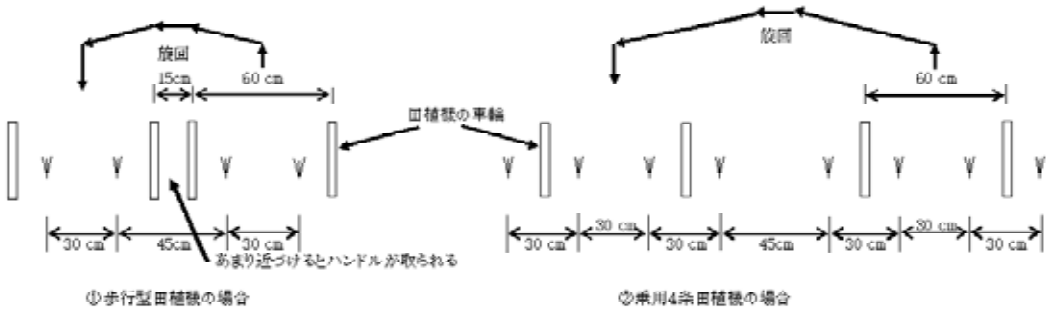


図8　株間の調整できない田植機における移植作業方式(条間拡大の変形で、行程間をあける方法)